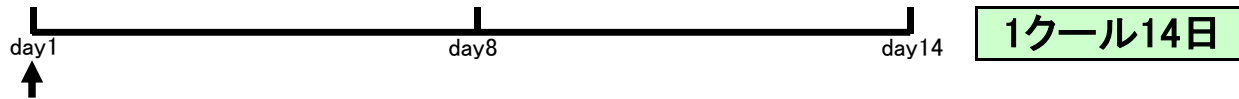


がん化学療法個人計画書

患者の状態により輸液の内容・量及び投与速度を変更する場合があります。

科名	適応がん種	レジメン名
	がん化学療法後に増悪した 治癒切除不能な肺癌	irinotecan(リポソーム製剤) +5-FU+I-LV
投与予定	休薬を含めて1クール 14日	施行可能な限り



Day 1

中心静脈点滴静注 30分
 グラニセトロンバッグ3mg 100ml
 デキサメタゾン 9.9mg

中心静脈点滴静注 90分
 生食 500ml
**irinotecan
(リポソーム製剤)
70mg/m²**

中心静脈点滴静注 5分
 生食 50ml

中心静脈点滴静注 120分
 5%ブドウ糖液 250ml
**レボホリナート
200mg/m²**

中心静脈点滴静注 46時間
 (インフューザーポンプ使用)
 生食 規定値
5-FU 2400mg/m²

**irinotecan
(リポソーム製剤)
の投与にあたっては、
目詰まりするため、
インラインフィルター
を使用しないこと。**

備考

薬品名	申請投与量	計算量	実際の投与量	薬価最小組み合わせ	備考
irinotecan (リポソーム製剤)	70 mg/m ²	#REF! mg/body	mg/body		UGT1A1*6若しくはUGT1A1*28のホモ接合体を有する患者、又はUGT1A1*6及びUGT1A1*28のヘテロ接合体を有する患者では、irinotecanとして1回50mg/m ² を開始用量とする。なお、忍容性が認められる場合には、irinotecanとして1回70mg/m ² に増量することができる。
レボホリナート	200 mg/m ²	#REF! mg/body	mg/body	内訳 25mg 0mg 100mg 0mg	
5-FU(46時間点滴)	2400 mg/m ²	#REF! mg/body	mg/body	内訳 250mg 0mg 1000mg 0mg	

併用内服薬	用量(1日量)	用法	投与期間
デキサメタゾン	8mg	分2 朝昼食後	day2-3

- 従来のirinotecan塩酸塩水和物製剤の代替としてirinotecan(リポソーム製剤)を投与しないこと
- PS、骨髄機能(好中球数・血小板数)、総ビリルビン値、下痢、UGT1A1遺伝子多型などを確認し、治療に適しているか検討すること。
- 投与可能条件、減量基準、減量時の投与量などが添付文書に記載されているので参考にすること。